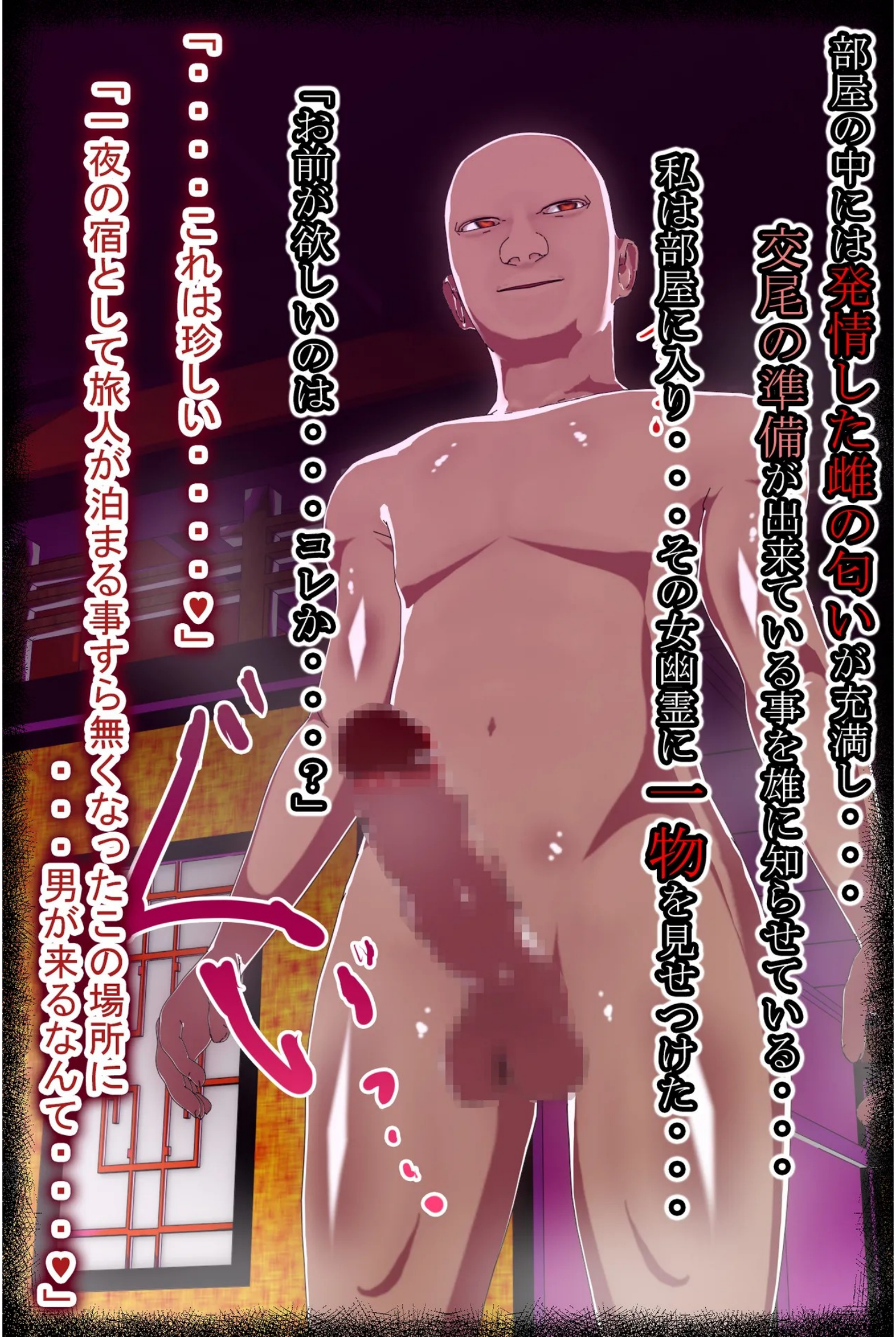
妖交尾奇譚
悪霊悪堕ち
遊郭幽霊の肉壺を調教し
妖を人間に差し出す従順な性奴隷にする男

人々に捨てられた廃村に・・・
朽ち果てた一軒の遊郭がある・・・
男の欲望渦巻く場所も・・・今は誰も訪れる事はない・・・
そんな場所に・・・何時の頃からか・・・
こんな噂が囁かれるようになった・・・
「遊郭に遊女の幽霊が現れ・・・夜な夜な男を探している・・・」
「その遊女の幽霊に見入られると・・・」
「最高の快楽を味わいながら
命尽きるまで精液を搾り取られる・・・と」

私は・・・その話を聞き・・・
遊女の幽霊と交尾してみたくなった・・・
私の一物でいやらしい汁を垂れ流す肉壺を蹂躙し・・・
従順な性奴隷として飼育してやりたいのだ・・・
ウウウウ
幽霊とは言え女・・・太く長い肉棒で可愛がってやれば
仔犬のように懐くだろう・・・
ああ・・・今から楽しみだ・・・
「肉棒を突き立てられた幽霊は・・・どんな声で鳴くのか・・・」

遊郭の中は妙に綺麗で、
誰かが手入れしているようだった・・・
「幽霊が人をおびき寄せる為にやっているのか・・・？」
「・・・あっ・・・ああっ・・・♡」
ｗ・・・
奥の部屋から女の声が聞こえる・・・
私は・・・そっとふすまを開け
奥の部屋を覗いてみた・・・

そこには・・・ハッキリと存在が感じられる
艶めかしい一匹の女幽霊が居た・・・
『んあっ・・・あんっ♥』
『おまんこっ・・・♥きもちいい・・・♥』
その女幽霊は自慰で自分の肉穴を慰めている・・
『男が欲しいのだな・・・幽霊も・・・』


部屋の中には発情した雌の匂いが充満し・・・
交尾の準備が出来ている事を雄に知らせている・・・
私は部屋に入り・・・その女幽霊に一物を見せつけた・・・
「お前が欲しいのは・・・コレか・・・？」
「・・・これは珍しい・・・♥」
「一夜の宿として旅人が泊まる事すら無くなったこの場所に・・・男が来るなんて・・・♥」

「それに・・・なんと逞しい男根・・・・♡」
「・・・いいのかい？・・・私は人を取り殺す悪霊・・・・♡」
ハッ♡ ハッ♡
「そんな私を・・・本当に抱きたいのかい・・・？」
「安心しろ・・・私は取り殺されんよ・・・」
「お前を従順な性奴隷として飼育する為にここに来ているのだからな・・・」
ヒクヒク♡

「性奴隷・・・♥♥悪霊を・・・・？」
「ご冗談が上手いお方で・・・・・♥♥」
「本当に冗談か・・・・・？」
「お前はもう・・・この男根の虜になっているんじゃないのか？」
「股ぐらが愛液でビショビショじゃないか・・・・」
ハンハン
グリッ

「・・・♡♡」
「女なら・・・生娘だってそうなります・・・♡♡」
「こんな美味しそうなオチンポ・・・初めて・・・♡♡」
「そのいやらしい肉穴にブチ込んでほしいならおねだりしてみる・・・」
「遊女なら・・・心得があるだろう・・・♡」

「・・・旦那様の逞しい肉棒・・・・・・♡♡」
「いやらしく涎を垂れる私の肉穴に突き立ててください・・・・♡♡」
「命が惜しくないのであれば・・・フフッ♡」
「旦那様か・・・良い呼び方だ・・・♡」
「私の男根で服従したら・・・お前を嫁にしてやろう」
んはぁ～っ♡
はぁ～っ♡
くちゅっ♡ぐちゅっ♡
ぐちゅっ♡

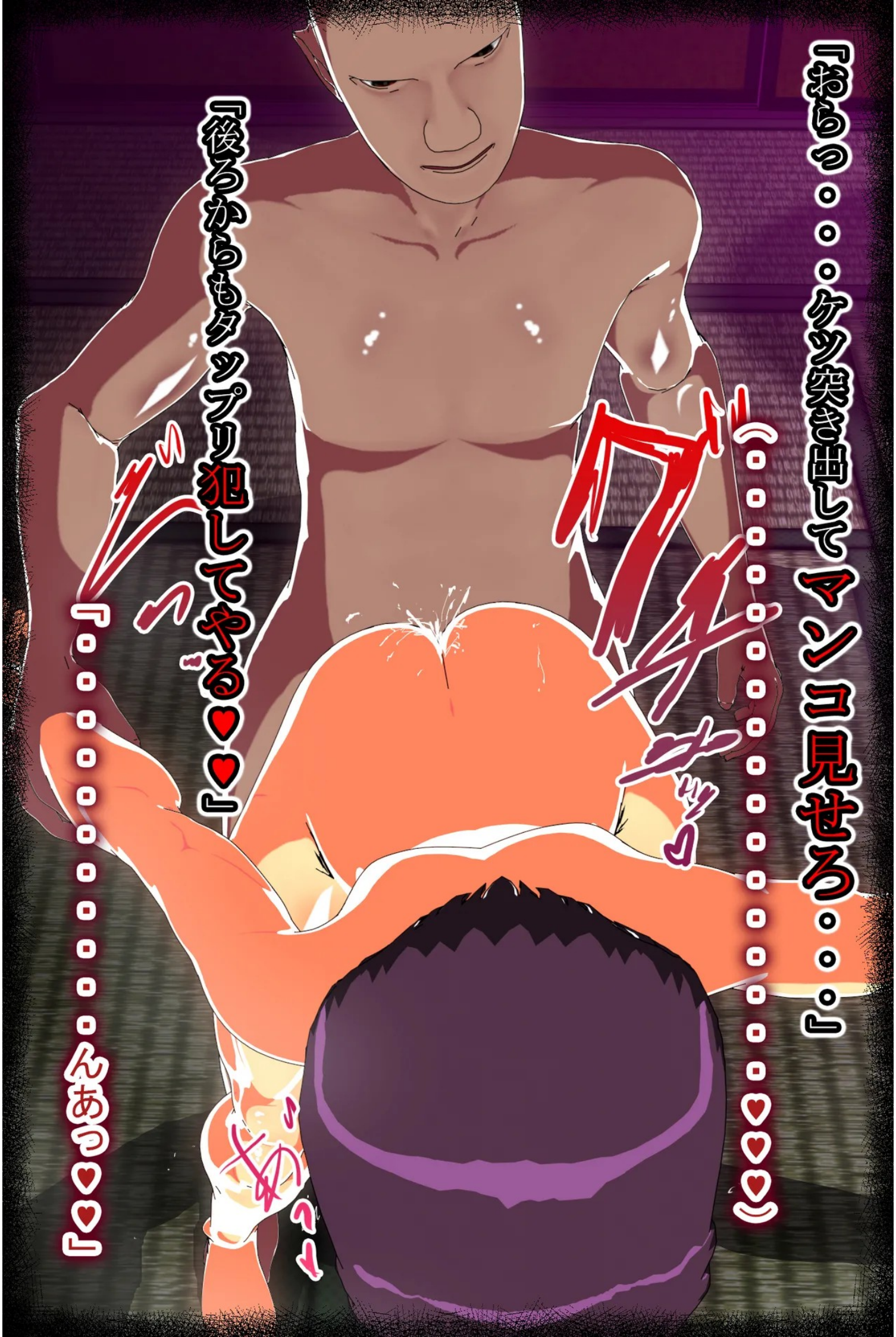
「フフッ……できる物なら……♡♡」
「ホラ……行くぞ……」
「……！♡♡」
《んひぃっ……♡♡
意識っ……飛ぶっ……♡♡》
《想像以上っ……子宮の気持ちいい場所がっ……♡♡》
《肉棒でっ……蹂躙されてるっ……♡♡》

《意識っ・・・飛ぶっ・・・♡》
『入れただけで・・・このありさまか・・・』
《・・・♡》
『ションベン撒き散らしながら意識失いあがって・・・』
『・・・まあいい・・・
暫く穴を弄んでやるか・・・』

「オラッ・・・お望み通りタップリまんこを使ってやるぞ！」
「・・・・・おごぉ・・・・・・・・・・・・・・・・♥♥」
「おちんぽお様・・・・・しゅご・・・い・・・・・♥♥」
「意識の無い状態で犯されるのは気付け薬に丁度いいだろ・・・」
「んぁあぁ・・・おっきぃ・・・おちんぽだめぇ・・・・・♥」

『あっ……あぁあ……』♥
『……』♥♥♥
『ふぅ……一発目はこんな所か……』♡
『……これが悪霊と恐れられた遊女の姿とは……』
『情けないな』

「また意識を失っているようだし・・・
起きるまで穴を調教して遊ぶか・・・」
「雄を喜ばせる穴があるって事だけが
女の存在理由なんだから・・・しっかり頑張ってくれよ・・・」
《ぐちゅっ・・・・・・♡》
あんっ
ビガッ
「コイツの肉穴・・・
意識が無くてもウネウネ動いてタコみたいだ・・・」


「おらっ・・・ケツ突き出してマンコ見せろ・・・」
「・・・

「ふぅ……人間でも妖でも……
マンコを蹂躙するのが……一番楽しいっ……♡」
「俺は何人もの女を凌辱し……
雌に変えてきた……♡♡」
「お前も……従順な性奴隷の一匹にしてやるぞ♡」
「……あんっ……♡♡」
「フフッ……意識が無い間に
人間の肉棒に服従させられるとは……馬鹿な奴だ……」

(……♥♥♥……)
ウウウ
ハァハァ
「……うぅん……」
どろぉぉ…♥
「……ッ」

『・・・・・・・・・やっと起きたか』
『私は・・・・何時から気を失って・・・・』
『かなり前からだ・・・・
十回以上犯しても目覚めなかったからな・・・』
はーっ♡
はーっ♡

「意識が無い女を十回以上犯すなんて・・・無粋な方・・・」
「・・・お前・・・うぁっ♡
自分の体の変化に気づかないのか？」
ぶるっ
ぶわっ♡
「変化・・・・・・？」
「・・・俺の肉棒を見て・・・その匂いを感じてみる・・・・・♡」

《。。。。。。。。。。プシャアア♥♥》
『。。。。。。。。。。何これっ。。。。。。♥♥♥
マン汁がっ。。。。。。溢れてくるっ。。。。。。
。。。。。。♥♥♥』
おっ
おおぉ～♥
『もう服従してるんだよ。。。。お前の肉穴は。。。』
『私の肉棒に媚び。。。。
可愛がって貰うための器官になっちまっている』
『後は。。。。。心だ。。。。。
』♡

「お前が望むなら・・・・
私の性奴隷として飼育してやろう・・・・♡」
「この凶暴な肉棒・・・もっと欲しくはないか？」
「今もマンコを弄って欲しくて仕方がないんだろう・・・？」
「・・・本当に無粋なお方・・・・・♡」
「女にそんな質問をするなんて・・・・・・♡♡」

「ぶっとい肉棒に服従したいに決まっているじゃないですか♥♥」
「早く性奴隷として・・・旦那様に飼育されたいっ・・・・・♥♥」
「悪霊なんか辞めて・・・旦那様専用の肉穴として一生を捧げます・・・・♥♥♥」
「あぁ・・・この瞬間が一番気持ちいい・・・・♥♥」
「犯した雌が従順になる・・・この瞬間が・・・・・♥♥」
ぉぉ♥

旦那様ぁ・・・・・♥♥早く私の淫まみれの肉穴犯して♥♥
おまんこでおちんぽしゃぶりたいのぉ・・・・♥♥
（・・・フフッ・・・良い事を思いついたぞ・・・）
しゃぁ・・・交尾に条件を出そうか・・・
お前と中の良い妖の雌を一匹私に差し出せ・・・
それが出来るならマンコをたっぷり可愛がってやるぞ・・・♡
は♥
は♥
ぱ♥
ぱ♥

「・・・差し出します♥♥
中の良い妖を呼び出して・・・・性奴隷として捧げますっ♥♥」
「だからっ・・・・友達裏切るからぁ♥♥
旦那様の肉棒でおまんこ」滅茶苦茶にしてぇ・・・・♥♥」
「仲間を裏切ってまで交尾をねだるとは♥
女と言う奴は・・・・」
「だって友達より・・・
まんこで肉棒しゃぶる方が幸せなんだもん・・・・・♥♥」

「だが・・・そう言う所は嫌いじゃないぞ・・・♡」
「お前も・・・その友達も・・・・
私が飼育してやる・・・♡」
「あんっ・・・・♡」
「女が一番輝く瞬間は・・・
逞しい肉棒で弄ばれている時だからな・・・♡」
「そいつにも・・・女の幸せを教えてやる・・・♡」

「オラッ！」
「あぁぁぁ……ぎもぢいい……♡」
「このおちんぽ様……すきぃ……♡」
『仲間を裏切って手にした肉棒はどうだ？』
「……最高っ……大事な物が全部……♡」
『旦那様のおちんぽにっ……塗り替えられていくっ……♡』

「今まで取り殺してきた人間達は・・・
こんな幸せ与えてくれなかった・・・・・♥」
「女を雌にしてくれるのは旦那様の様に・・・
力で子宮を服従させられる人だけなんだ・・・・♥」
「あんっ・・・・♥♥」
「どんな生物も・・・力の強い者を求めるからな・・・」
「オラッ・・・・・中に出すぞっ♥」

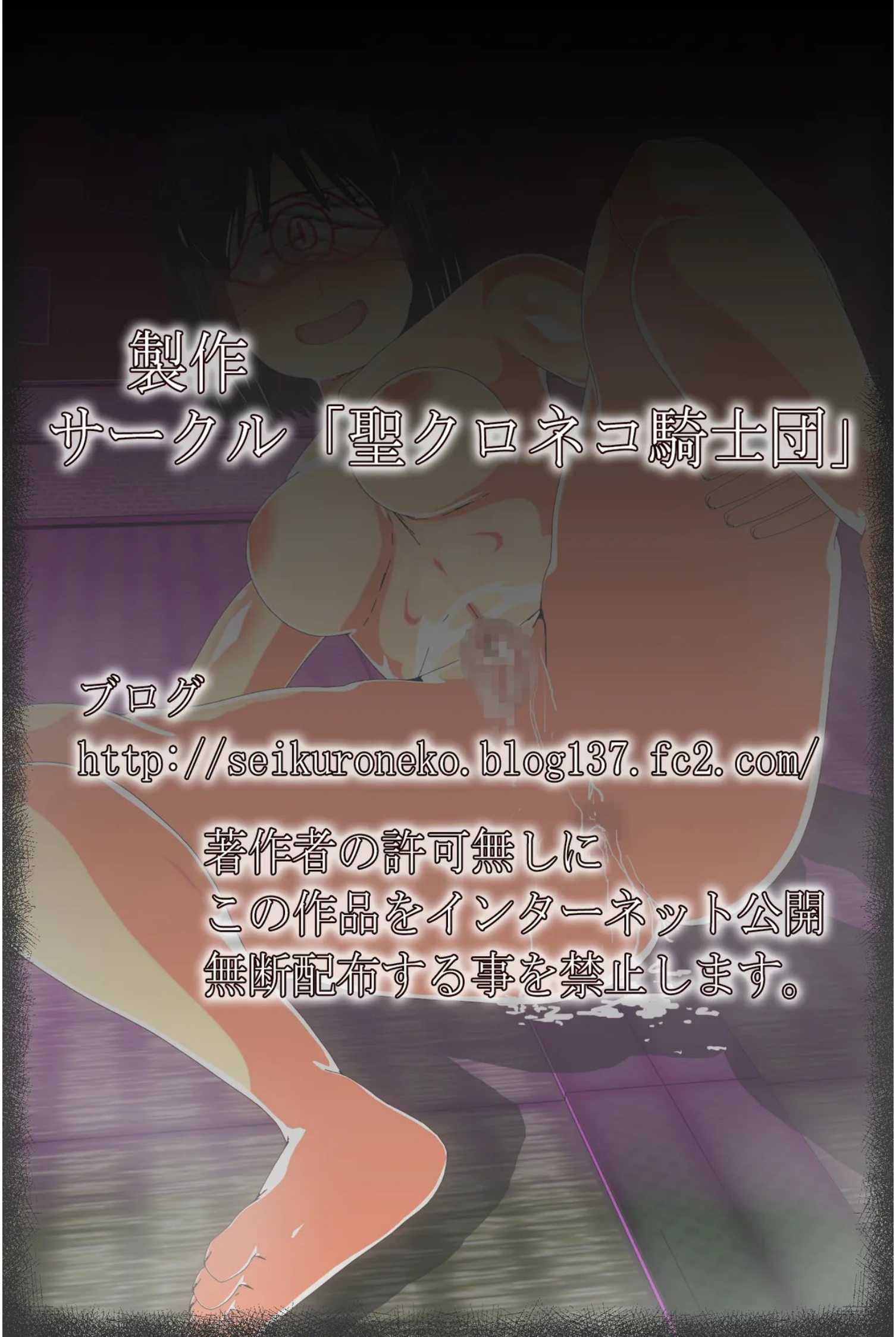
「はぁぁぁ……子宮の中が幸せで満たされる……♡♡」
「目が見えぬからと親に売られ……
好きでもない男の相手を無理矢理させられていた過去の私……」
「私が現世に縛られているのは……
男への復讐の為だと思っていたけど……」
「……違った……♡♡」
「本当の女の喜びを教えてくれる
旦那様と出会い……♡♡」
「……性奴隷として飼育される為だったんだ……♡♡」
ぱんっ♡
ずぷっ♡
はぁ～っ♡
はぁ～～っ♡

「何を呆けている……一物の掃除をしろ！」
「すみません……旦那様……♥♥」
グッ
「……オチンポ様……素敵……♥♥」
ヌッ
「あんなに射精したのに……まだこの太さ♥♥
強い雄の匂いも……最高っ……♥♥」

「お前が差し出す妖の女はどんな奴なんだ……？」
「大柄な鬼の娘です……♥♥
マンコの肉もキツキツで犯し甲斐があると思いますよ♥♥」
「鬼の娘か……暴れたりしないだろうな？」
「大丈夫です……私が金縛りで押さえつけますから……
お好きに犯してください……♥♥」

「酷い奴だ・・・友達が犯されると言うのにその手助けまでする気なのか・・・・・♡♡」
「だって・・・私には旦那様が・・・♡♡旦那様の肉棒が必要なんだもん・・・♡♡」
ズリッ
「もっと可愛がってほしいの♡♡逞しい肉棒で愛して欲しいのお♡♡」
「分かった分かった・・・これからもずっと可愛がってやるよ♡」
「旦那様あ・・・♡♡」

悪霊を従順な性奴隷に出来た私は・・・・
そいつを使い・・・
新たな性奴隷を捕獲する事にした・・・・
「・・・本当に・・・女の飼育は面白い・・・・♡♡」
マンコが気持ち良くなる為に・・・
心さえ捨てるのだから・・・♡♡
ズボッ
「何匹飼育しても飽きが来ない・・・・最高の趣味だ・・・・♡♡」

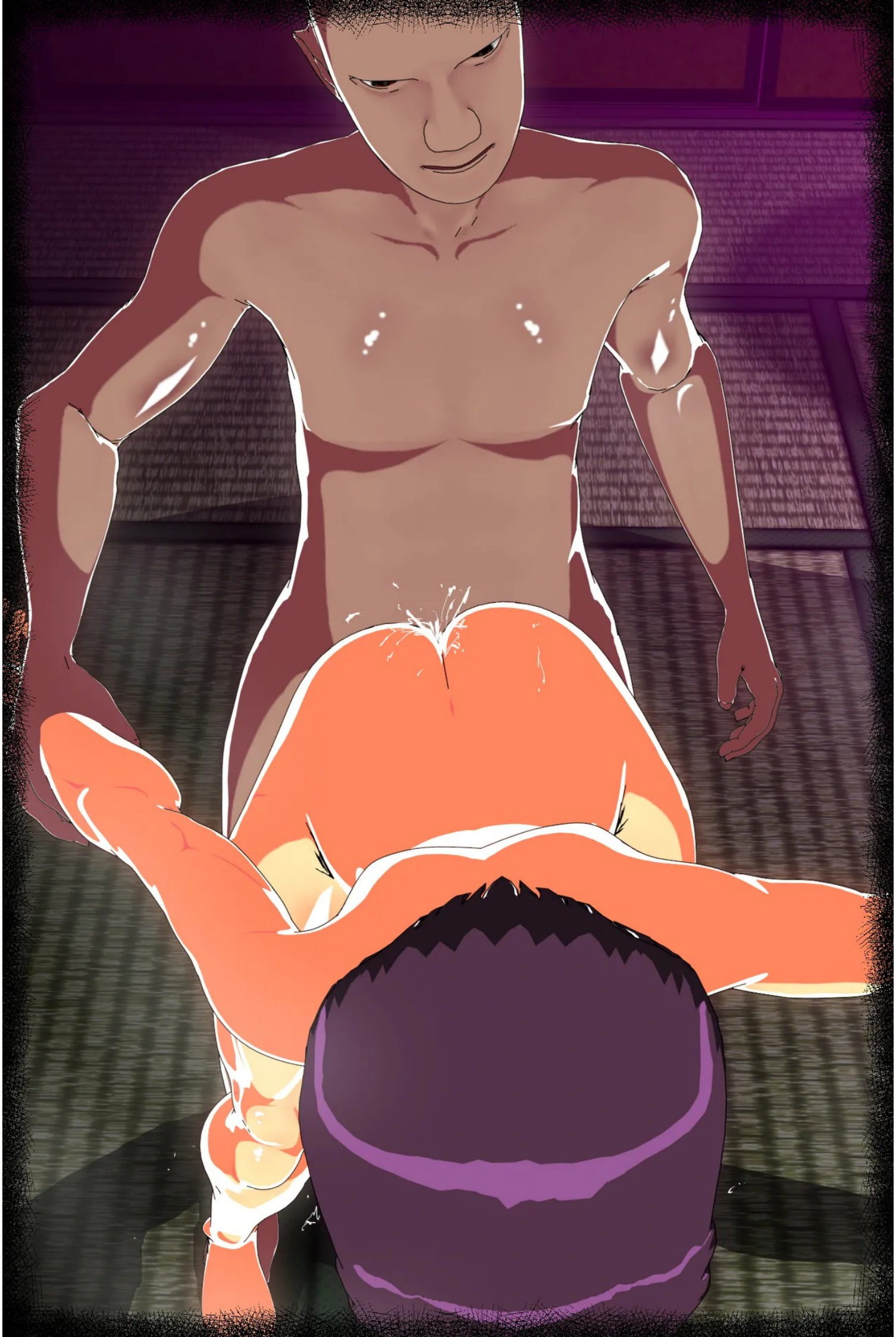


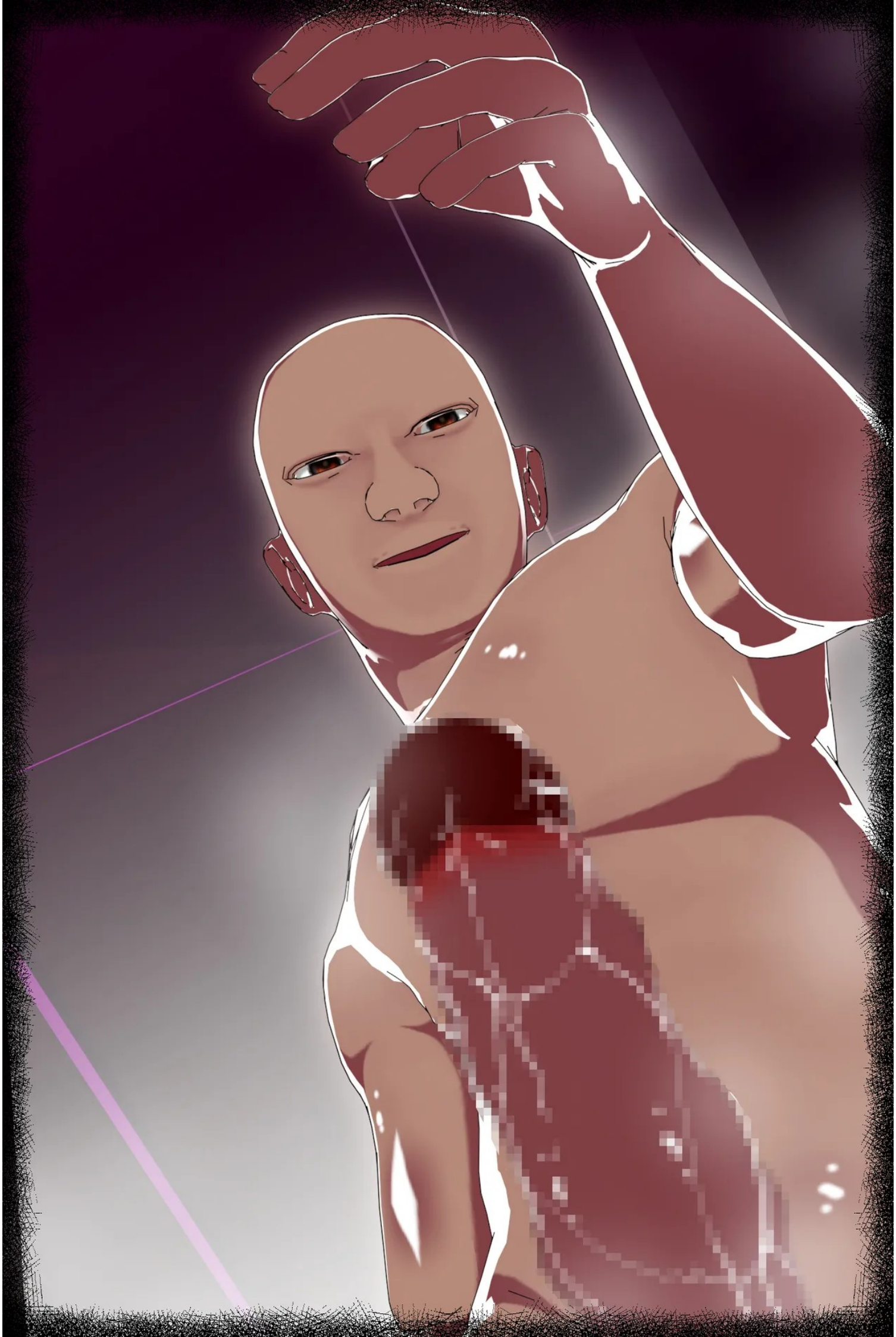
製作
サークル「聖クロネコ騎士団」

ブログ
http://seikuroneko.blog137.fc2.com/

著作者の許可無しに
この作品をインターネット公開
無断配布する事を禁止します。

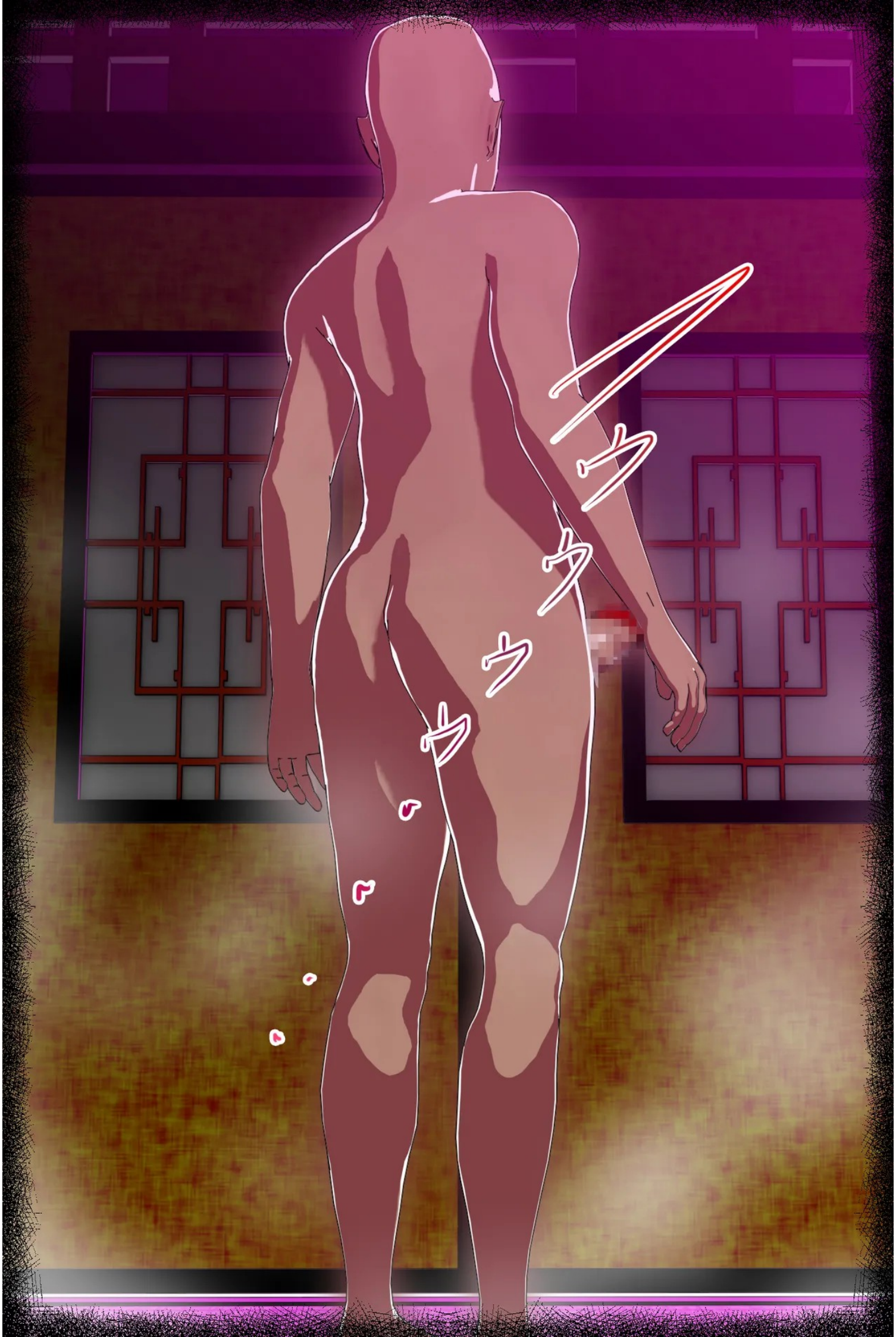
CG集画像
台詞無し

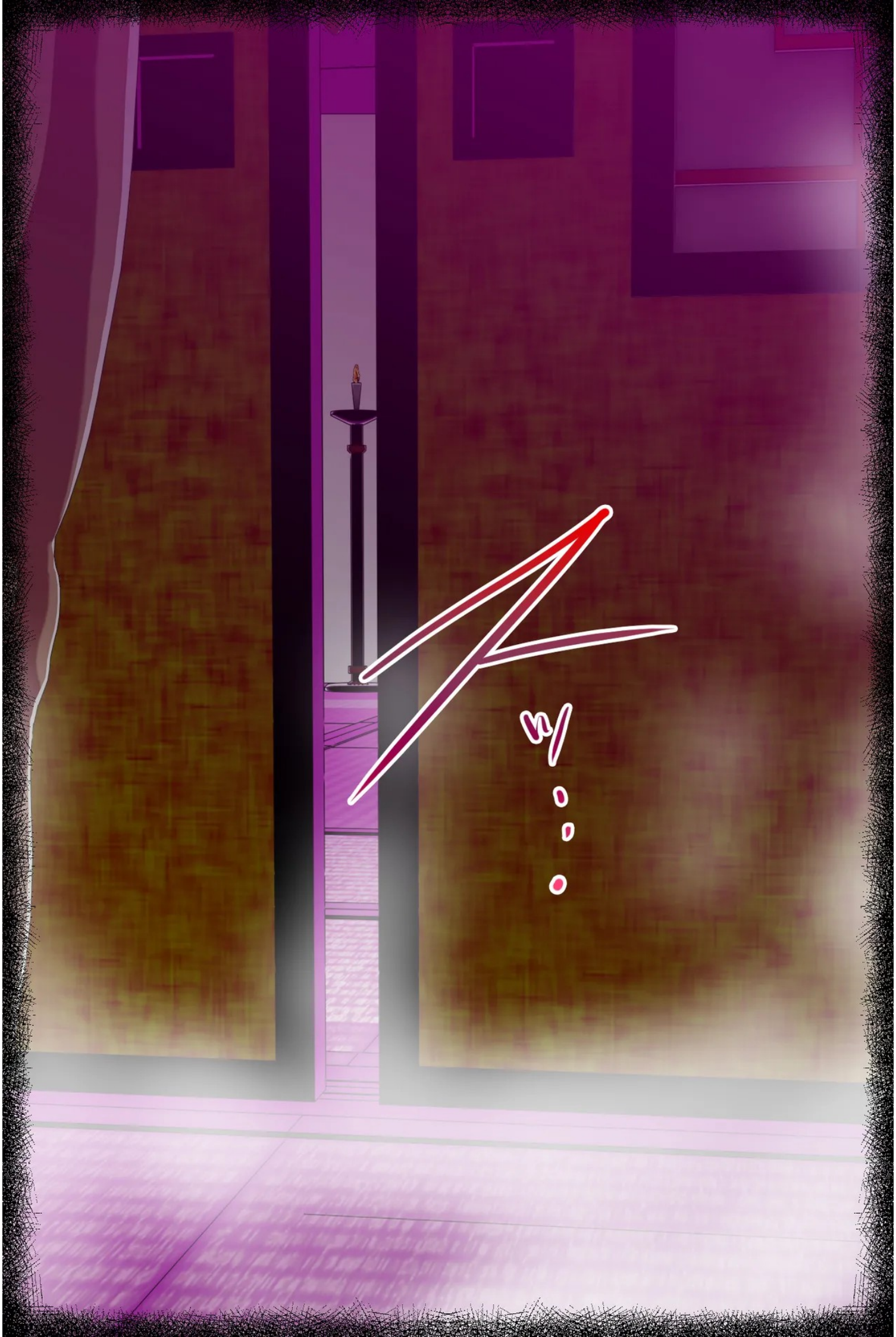




CG集画像
台詞無し
（効果音有り）

イ～ン♥
イ～ン♥
ぐちゃ
あぁ～


ウ
ウ
ウ
ウ


ん/

ハァ
ハァ
ハァ
ぐぢゅ
ぐぢゅ
ぐぢゅ♡
ぐぢゅ♡

ハァ
ハァ

ハ♡
ハ♡
ハ♡
ヒクヒク♡

ハァ
ハァ
ハァ
グリッ

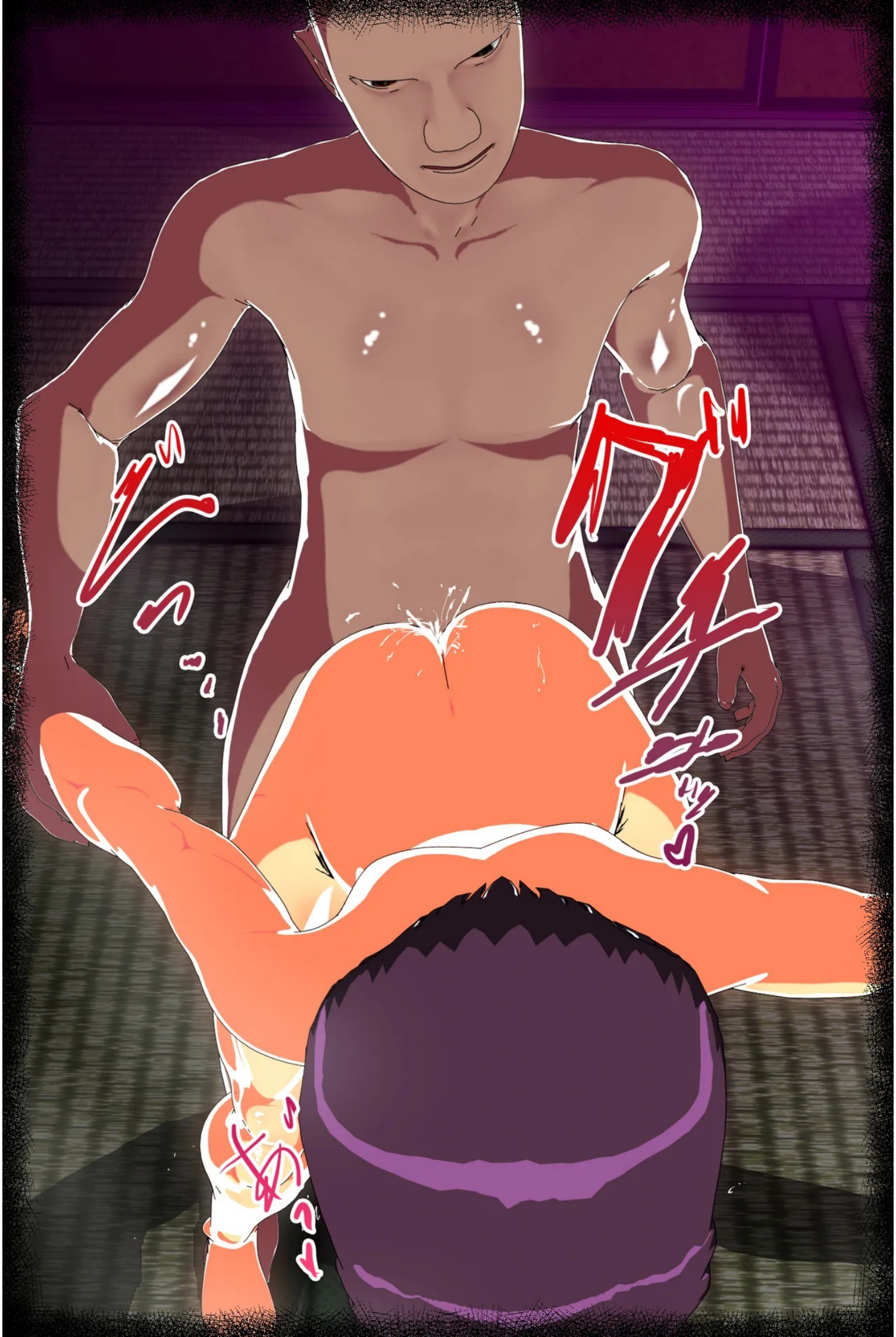
はぁん♡
ズズズ…

んはあー♡
はー♡
はー♡
くちゅっ♡♡くちゅ♡
くちゅっ♡

はぁあ
ヒク
ビクビク
ビュルルル

はぁ！
はぁ！
はぁ！
ぐぐぐ
ぐぐぐ

あんっ
ンッ♡
ズブッ
ゆっ♡



お…♥
ぐちゅっ
ぐぢゅっ
ぐぢゅっ♥

どろぉぉ…♡
ウウウウ…

はーっ♡
はーっ♡

ふぅ♡
うぁっ♡

お…
おおぉ…♥
ドクドク…

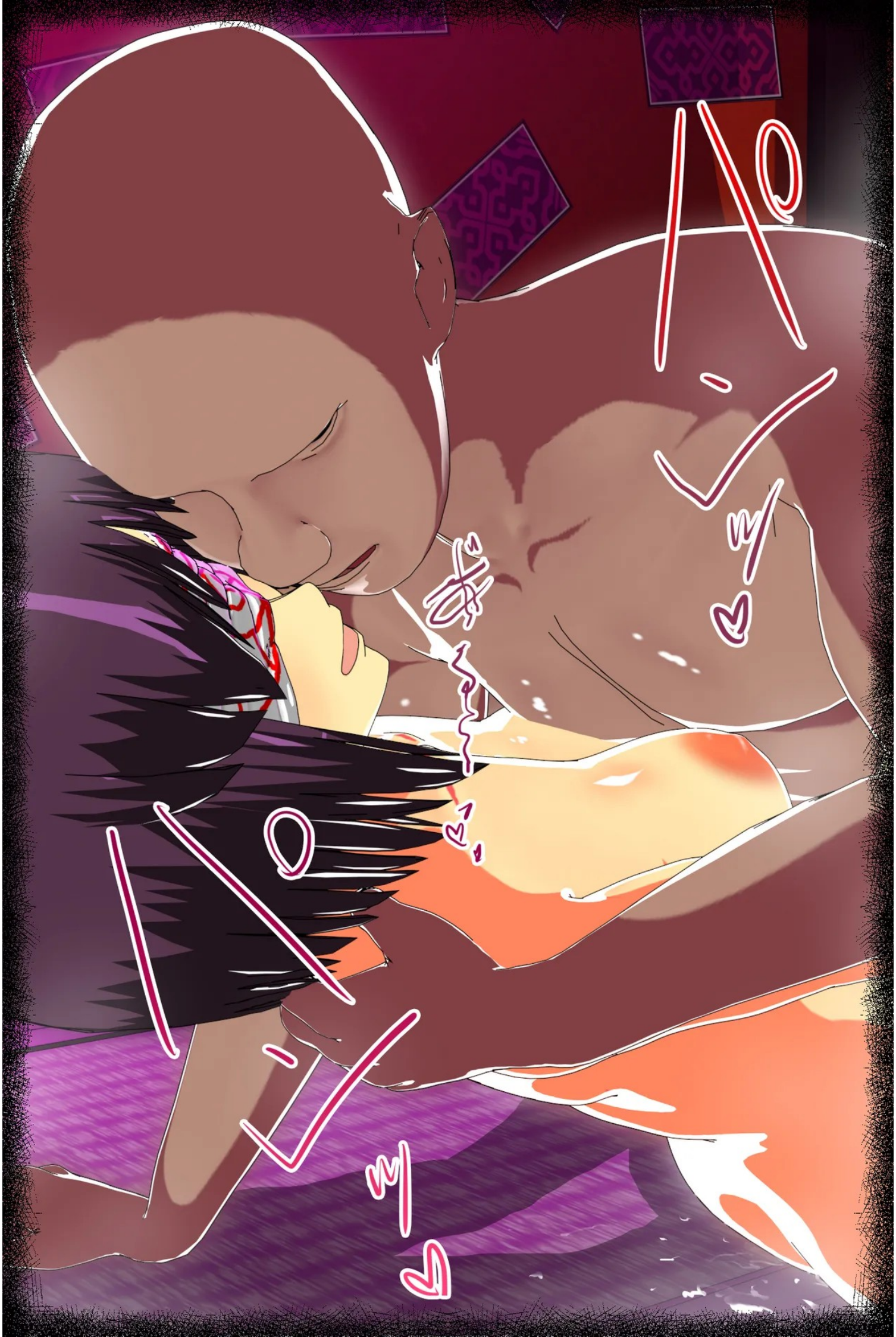
ボヨヨン

ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
ハッ♡
しゅごぉ♡

はっ♡
はっ♡
はっ♡
ぱっ♡
ぱっ♡

ハッ
ハッ
ハッ
ビクビクッ
しゅごぉぉ…

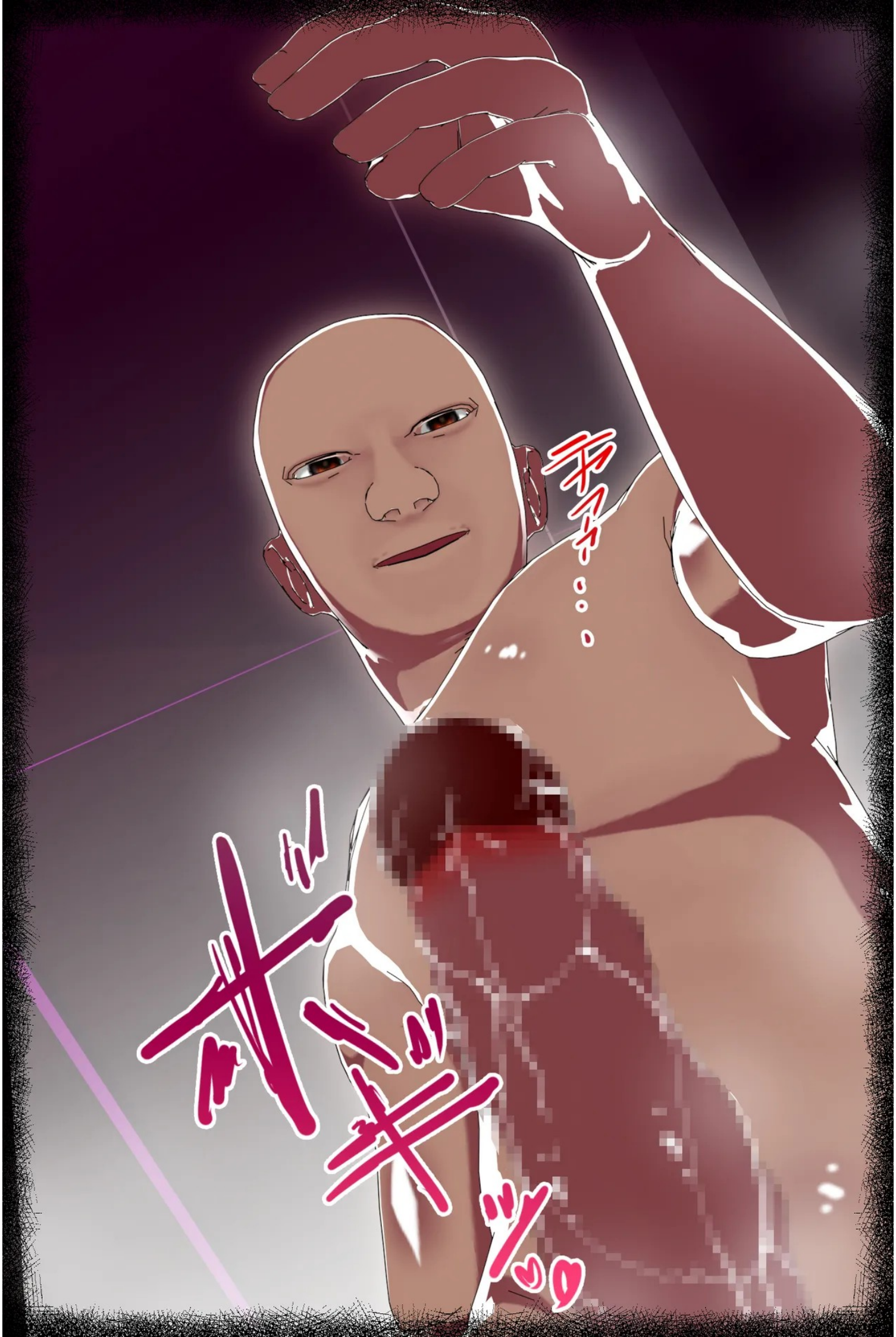
くぅぉ
ぐぉ
ぉ
ぉー
ぉ
ぉ



ぱんぱん♡
ずぷっ♡
ぬぷぬぷ♡
いやぁ——っ♡
もぉ

ぐぐぐ
あっ♡

はぁ～ん♡
はぁ～♡
なでなで♡


ヤラシイ…